



●神戸風月堂、故下村光治氏（先代社長）を偲ぶ集い

去る9月18日、昨年同日に急逝された神戸風月堂の先代社長、下村光治氏を偲ぶ集いが、盛大に催されました。会場のホテルゴーフリッツには、故人の好物の屋台が並べられ、ありし日の下村氏の面影を偲びました。



●ドイツ統一の1周年に集う

あの劇的な東西ドイツの壁が破れ、ドイツ統一というヨーロッパの記念すべき10月3日。神戸・相楽園会館において、ドイツ総領事館パウマン総領事夫妻の主催となるドイツ統一1周年の祝賀会が開かれ200人が集った。



●小笠原暁さん還暦記念コンサート

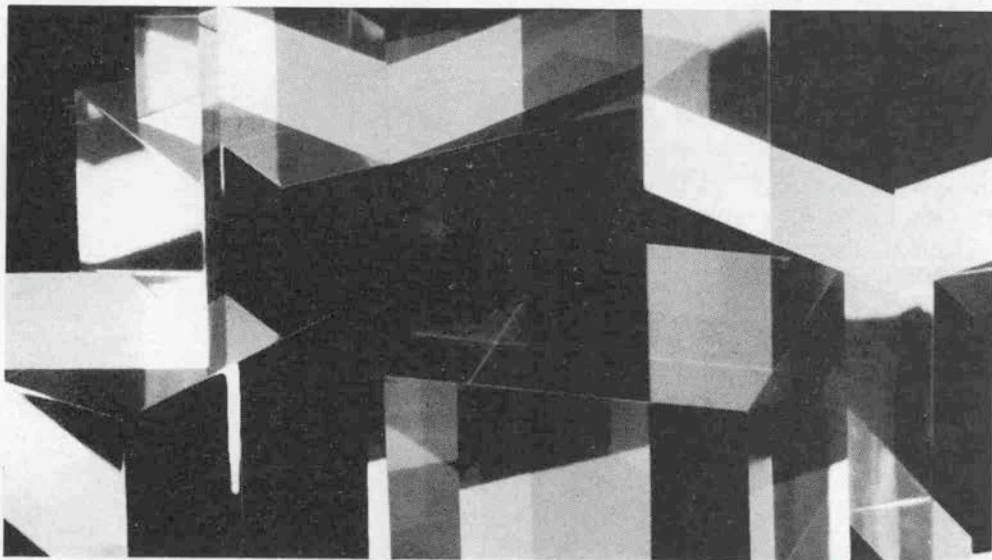
9月14日、芦屋大学教授、小笠原暁さんの還暦記念コンサートが新神戸オリエンタルホテル・真珠の間で催された。今年9月26日で60歳の誕生日を迎えた小笠原さん「月の砂漠」など自慢ののどを披露した。



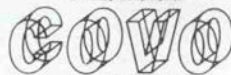
●ジャパニーズドリーム号で望月美佐を囲む集い

ジャパニーズドリーム号（日本旅客船株式会社）が企画するジャズパクラブの会員募集のキャンペーンに、望月美佐さん（書家）を囲む船上パーティを4突入港中の船上で開催。約200名が参加。

Autumn Greeting



Interior Design & Shop Organize



ARREDAMENTO

株式会社 コーヴォ・アレダメント

代表取締役 杉本 勇和次

〒650 神戸市中央区下山手通3丁目13-15 パンブロスビル
TEL (078) 331-0117 (代表) FAX (078) 331-0108

大人達のスポーツクラブ 来春オープン

弘世 徳太郎さん（株式会社ニッセイ・アスレティックス 代表取締役社長）

三宮オフィス街の真中に、来年四月スポーツクラブが誕生する。東京銀行の西南斜め向かい。神戸らしい外観と、ユニークなコンセプトを持つとのウワサの「ニッセイ・エグザス三宮」。そこで、経営の軸ニッセイ・アスレティックス弘世徳太郎社長にお話を伺った。

まず、本社のニッセイ・アスレティックスについてお話を伺います。

「当社は昭和63年に、親会社日本生命の100周年を記念して設立されました。国民が健康で幸せな人生を送るために「スポーツ施設、健康管理、スポーツ指導などを目的」とします。社会奉仕ではなく、日生、ニチイ、ビーブルと提携しての株式会社ですので、収益を挙げなければいけないのですが、難しいですね（笑）」

「今度オープンされるスポーツクラブの特色は？」

「エグザスは、神戸では三宮の次にハーバーがオープン



弘世徳太郎社長。「神戸っ子が通る、神戸っ子のためのスポーツクラブです」



される予定です。三宮は旧居留地という場所柄、色々な制約もありますので、昔の建物の外観を生かし神戸らしい重厚なたたずまいにしました。シックな大人達のスポーツクラブ」と表現していますが、落ちついて楽しめるスペースを目指し、対象は18才以上の方としました。健康体力診断、個人に合わせたトレーニングもインストラクターが指導します。

ビルの地下1・2階がクラブになり、ゴージャスな雰囲気大切に、プールには水中照明で、リラククスして楽しめる工夫も凝らし、エアロスタジオでは音楽に合わせて光を変化させたりしています。吹抜けのラウンジがあり、プールを見おろして軽く一杯もね。

「只今キャンペーン中ですので、入会予約をどうぞ。」

「日常を忘れてホッとできるスペースになりそうで、完成が待ち遠しいです。最後に社長の事を少し……。」

「日本生命で40年過ごし、この会社を設立しましたが、大企業と違いすみずみまで見えるので、アットホームな会社だと自負しています。私は生粋の神戸っ子（住吉在住）です。神戸に店舗を持つ事が念願でした。自然の中に浸るのが好きで、自然を介して色々な人と友達になれるし、スポーツクラブも、老いも若きも一緒に楽しめる所にしたいですね」

■問い合わせ・予約センター ☎078-391-5541

□月刊神戸っ子30周年記念□

<小磯良平遺作展によせて>

画家小磯良平

Ⅶ. 晩年の展開

1972—1988年

山野英嗣

<兵庫県立近代美術館>

RKOISSO

1903—1988

一九七一(昭和四六)年春、小磯良平の東京芸術大学停年退官を記念して、美術学校入学以来の歩みを振り返った自選による「画業五十年小磯良平展」が、東京と神戸で開催された。この展覧会は、その後各地で数多く開かれることになる「小磯良平展」の口火を切った本格的な大回顧展として位置づけられている。そしてこの展覧会に出品された作品のうち、一九七〇(昭和四五)年作の《三人の踊子》以後二十点の作品は、フランス人形と外国婦人をモチーフとしたものであり、本章で取り上げる小磯良平晩年の作品群に見られるテーマの、主たる傾向が予告されているかのようであった。このことから小磯良平は、芸大の退官を前に、以後の自らがすすむべき方向をほぼ固めていたように思われる。本章の冒頭を飾る《白い首飾りの女》と《バイオリンと西洋人形》の作品は、晩年の小磯芸術の展開のエッセンスを集約したものであるといえるだろう。

ところが晩年においてさえ、小磯良平はただ黙々とアトリエで制作三昧の日々を送ることができたわけでもなかったのである。この時代にも、小磯良平の手を借りなければならぬいわば公的な事業が舞い込んでくる。一九七三(昭和四八)年、小磯良平は東京・赤坂迎賓館のための壁画制作の依頼を受けたのである。この作品は二対のそれぞれが約200号の大作であったが、テーマを《絵画》、《音楽》として、翌年の三月に完成の運びとなった。小磯良平にとっても《働く人》以来二十年ぶりの大作への挑戦となったが、それだけではなく、この壁画はそれまでの画業の歩みを集大成したかのような出来栄を示したものだといわれている。この《絵画》と《音楽》も群像表現の形式がとられているものの、寧ろ大胆にも現代の若者達を登場させているのは驚きである。

今回の展覧会では、そのエスキースを出品作に加えているので、完成作の面影をつかんでいただきたいが、中でも空間構成の印象は、現代的な人物群像を包み込む空間としては異質の、古典的な様相を呈したものであることに注目したい。モチーフの源泉となっているのは、小

磯良平が見慣れていた芸大の美術学部と音楽学部の学舎の一隅であろうが、現代にクラシカルな精神を継承するこれらの場が選びとられているのも、いかにも小磯良平らしい着想だといえるだろう。そして、これらの人物群像を包み込んでいる空間そのものの印象が、ヴェラスケスやフェルメールの絵画空間を想起させるのである。人物群像の構成は複雑で、様々な呼応関係を読みとることができる。また、奥行への空間の広がりが意図されているのも、迎賓館という建築内部に収められる作品であることが、最初から意識されていたからであろう。建築内部の絵画作品という意味では、この迎賓館の壁画と相前後して着手された、神戸文化ホールや宝塚大劇場のためのどん帳の原画制作も、小磯良平晩年の特筆すべき活動である。

この《絵画》、《音楽》と恐らくは並行しながら、小磯良平はこの大作の一部分を改変し、独立したタブローに仕上げる試みも行っている。その結果誕生した作例が、《台奏》や《ギターを弾く男》であろう。とりわけ、《台奏》の画面全面で交差する楽器とこちらをふり向く

女性との組み合わせ方法は新鮮で、小磯良平にとっても珍しい立体的な構成への取り組みが成功した作品である。迎賓館壁画の制作は、空間構成を考える上でも実り豊かな成果をもたらしていたのである。

さて、こうしたいわば公的な制作を続ける傍ら、はじめにも記したように一方のタブロー制作において、小磯良平は自己の画業の原点に立ちもどる作品を残してゆくのであった。

一九七〇年前後から、小磯良平は比較的多く人形をモチーフとした作品を描いている。人形の絵はいってみれば、擬人化された静物画とでも位置づけられるだろうが、そもそも人形を描くようになった動機について、小磯良平は「人形の絵といえは小出楳重のガラス絵の中に非常に印象深い作品があって、私もいつかは人形を描きたいと思っていました」と述べている。この章にも、《バイオリンと西洋人形》や《人形四体》他の人形をモチーフした作品を集めているが、人形といってもそれは小出楳重の場合と同様にフランス人形のことを指しているものであって、これは洋風趣味化したモチーフの典型としての、ひとつの静物画と見做すことができるであろう。「静物」ということでは、《マスキヤン》の作品にも見られるいわゆるマネキン人形を対象としたときも同じことである。すでに触れたように、小磯良平はたとえ人物群像であっても、モデルはせいぜい一人か二人のことが多く、それを巧みに組み合わせる群像構成としているのであった。換言すれば、一見写真絵画と思われる小磯良平の世界も、一種の無名性をもった特異な空間を形成したものだといえる。作品のすべてがすべてこの意図のもとに描かれているわけではないが、こうした特異なファンタジックな空



黒い衤の女 1977

間を実現するためにも、最もふさわしいモチーフとして、人形やマネキンが選ばれているのだと思われるのである。《マヌキャン》や《マヌキャンと西洋人形(B)》では、ことさらその印象が強い。

一九七四(昭和四九)年三月、迎賓館の壁画は完成し、東京、大阪、名古屋を巡回して、エスキースと共に一般公開された。この壁画が完成したことで、小磯良平はアトリエの中でやっと自由な気分を味わえるようになったのか、モデルを招き入れ、お気に入りの衣裳を着せて、再び女性像を描きはじめる。《裁縫する女》と《室内》には、小磯良平が求め続けた女性像のひとつの到達点が表示されているかのような感がある。短時間で一気に描き上げられた《外国婦人》、さらに《肘をかける女》や《黒い衿の女》のような丹念な仕上がりを見せる女性肖像も、小磯女性像の典型と呼ぶべきものであろう。これらの作品には、あの画学生時代の《T嬢の像》から、まさに一直線の細長い糸が切れることなく繋ぎつてきているような雰囲気漂っている。

小磯良平の空間構成で、時に重要な役割を演じているのに光の効果がある。例えば《室内(B)》や《朝のひととき》を見れば、ハイライトとして声高に光の存在感が誇張されているのではなく、画面全体に浸透するかのような柔らかなさをもつて、一層の静寂感を醸し出す段階にまで深められている。小磯良平がこれらの作品を描くにあたって、主題のみならず、その光の豊かな表情の可能性をフェルメールの《ヴァージナルを弾く婦人》などから学びとっていたことも確かであろう。

ところで、一九五〇年代初頭の《母子像》やこの時期の裸婦作品の代表作《横向裸婦》などの作品に指摘されている古典主義的傾向は、その後一時影を潜めていたが、迎賓館壁画の空間構成で再び試みられ、一九七〇年代半ばから後半にかけての、小磯良平晩年のひとつの柱を形成してゆく。一九七四年の《婦人立像》や《集い》で、着衣の女性像、あるいは群像表現の形態をとりながら、現代に息づくモニュメンタルな古典主義とでもいうべき

風格を感じさせるまでに至っているのである。また、《船のある静物》は、揺るぎない画面構成と落ち着いた色調によって、静物画におけるこの古典主義的傾向が示されている。この作品などを見ると、すでに紹介した東京芸大教官時代の《かぼちゃのある静物》や《静物》、《時計のある静物》の一連の抽象的な作例は、小磯良平にとつてはまさに過渡期の表現であったことが明らかになる。一九七八(昭和五三)年の《描く婦人》は、人物と静物を合体させた、小磯良平独自の古典主義絵画の完成作であるといつても過言ではない。

この《描く婦人》は、小磯良平七五歳の作である。迎賓館壁画の着手の時も七一歳に達しており、年齢的なことを考慮しても、この一九七〇年代はじめから後半にかけてが、小磯芸術の到達点であったといえるだろう。そして一九七九(昭和五四)年に制作された一連の女性像、本展の出品作であれば《肩掛けの女(婦人像)》から《婦人像》にかけての作品には、小磯良平が自ら描き続けてきた女性像の、その制作の余韻を響かせているかのような気配が感じられる。

本展では、最後の女性像として三点の外国婦人像を選んだ。すなわち一九八〇(昭和五五)年の《リュートを持つ婦人》、《婦人像》、《アトリエにて》の三点である。

あの画業五十年を記念して開催された自選の展覧会の内容を反復するように、外国婦人像が最晩年でも、小磯良平の作品を代表するものとなっている。

《リュートを持つ婦人》では、その画面を満たす光の効果は、一種名状しがたい不思議な魅力をたたえ、この作品は恐らく、小磯良平の光の追求が頂点に達したものと考えられよう。そして一九八四(昭和五九)年の《アトリエにて》で、まるで強烈な西日を浴びたように、画面は明るさを増す。この最晩年に到来する明るい空間は、本展の油彩画の最後の作品となる《御影の風景》にも見られる。小磯良平自身、六十余年のこの画業が決して悔いするものではなかったことを、この明るい画面は象徴しているようにさえある。(読売新聞社発行「小磯良平追悼展カタログより転載」)

K.F.S. NEWS 156

活発に発言、盛りあがったトーク

9月20日(金)勤労会館にて“KFS
トーク”が開催された。

木場 古くから神戸の商いは貿易、船
アパレルなどさかんです。又、スマー
トでセンスがいいという言葉と神戸の
商いのつながり、自分の仕事の現在
が数年前からどう移りかわってきたか
お話し下さい。

荒津 神戸のアパレルが栄えたのは神
戸市が力を入れたからです。ファッ
ションがのびたというのは、全国にも例
がありません。私自身は、神港ドレス
をしています。袖つけミシン一台400
万円もします。素材的にどのくらい使
えるかを研究しています。間接経費を
少なくして、いい工場、いい商品を心
がけ納期に気をつけなくてはと思って
おります。

西條 創業して23年になりますが、紳
士服から出発して、婦人服へとかわっ
てきました。第1にお客様に対して納
期を守ることをモットーとしていま
す。おかげで10年来手のすくことがな
く、忙しいですね。

田中 今、紳士服は職人が不足してい
ます。若い人はしんぼうがきかないで
すね。ここ2、3年はアルマーニなど高

額なブレタがはやっていますから、オ
ーダーだと安いという声もききます。

中村 うちは、“今売れているものを
今つくる”ということにしています。
香港から布を買ってきて、韓国で作
ると、すぐ作ってくれるので1カ月で完
成します。お客さんで若い方は、ラー
メンすすっても10万～20万する服を着
るという人もいます。

大内 1965年にヨーロッパ、アメリカ
へ2カ月旅行して問屋さんを見てまわ
りました。その時アメリカで一番大き
いボタン屋はノーションと雑品をおい
ていました。企業30年説というのがあ
りますが、他と同じことをしていたら
つぶれてしまいます。また、神戸のフ
ァッションについて一口でいうと、卵
の殻が革新、自身が保守、黄味が基本
性重視、そういうものではないかと思
うのですが。

高橋 私はにしむら珈琲に勤めていま
すが、私の会社には、バリ、ミラノな
どの海外や、全国のデパート、東京、
名古屋で展開しないかというお話がよ
くあるのですが、すべてお断わりして
きました。珈琲の原価ですが1杯100円
です。それを400円で売るのでしたら、

300円分はモノとして以外のものがある
わけです。この珈琲一杯の味にこれか
ら満足して頂けるようにと思っています。
と、約2時間のトークを終え
た。

●11月一般公開講座

とき 11月15日(金)

場所 三宮センタープラザ16F 中小企
業指導センター

講師 三好正英氏

会費 会員無料 一般1000円

秋も深まってまいりましたが、11月
のマンスリーは、神戸市役所経済局フ
ァッションセンター建設準備室長の三
好正英氏をお迎えし、六甲アイランド
に竣工予定の衣裳博物館についてお話
頂きます。



KFSトーク

K O B E F U K U S H I

神戸を

福祉の街に

全国骨髓バンク
推進連絡協議会

橋本 明

〔社団法人家庭看護
促進協会事務局長〕

K O B E F U K U S H I

翼をください

― 骨髓バンクの設立のために ―

今年の五月、新潟県で急性リンパ性白血病の17歳の長男を道連れに、49歳の母親が乗用車で海に飛び込み命を絶った。長男は二年前に白血病と診断されて入院し、骨髓移植に望みをかけて白血球のHLAの型の合う骨髓提供者をさがしていたが見つからずに行きづまっていたという。

白血病などの血液の難病で発病する人たちの数は全国で年間約六千人程。そのうち約二五〇〇人ぐらゐは骨髓移植ができれば命を救うことができるという。白血病や再生不良性貧血などの重い血液の病気はひと昔前までは不治の病と言われてきたが、最近では骨髓移植によって治る可能性がでてきている。各地で骨髓バンク設立への動きが活発になってきており、厚生省も年内に骨髓移植推進財団を設立すると発表している。

9月21日に兵庫県民会館で「骨髓バンク神戸シンポジウム」が開かれたので会場を訪れた。

兵庫医科大学の原 宏教授、名古屋第一赤十字病院看護副部長の牧野正代さん、神戸新聞の慶山

充夫記者、兵庫県赤十字血液センター検査課長の能勢義介氏らがスライドを上映しながら、骨髓献血や移植の実際、看護上の問題点、世界の骨髓バンクの現状、白血球の型HLAなどについて説明があり、また現在日本で唯一の民間のバンクである「東海骨髓バンク」の活動についても報告があった。

参加者からは「24歳の娘が白血病で無菌室に入院中だが移植は可能なのかどうか」「ドナーの保険や補償はどうなっているのか」「移植する時の患者への告知はすべきなのか」「骨髓採集の方法のPRについて工夫がいるのでは」など、切実な、涙を流しながらの質問もあった。このシンポジウムを主催した団体の一つである「骨髓献血の和を広げる会」は一昨年の十二月に京都府福知山市で発足し、この二年間骨髓献血を呼びかけ、骨髓バンク設立に向かってさまざまな活動を続けている。

代表の藤岡八重子さんは娘の貴子さんを13歳の時に白血病で亡くしている。「患者からポランテ

イアへ、そしてもっとこの運動の輪をひろげるためにがんばりたい」と藤岡さんは終りの挨拶でシンポジウムをしめくくった。

ところで、骨髄移植をするためには白血球の型(HLA)が患者と一致した骨髄の提供者(ドナ―)が必要なのだが、HLAが一致する確率は兄弟姉妹では四人に一人だが、きょうだいの数が少なくなっている今日ではこの確率はもっと低い。

他人とHLAが一致する確率となると五百人から一万人に一人ぐらいしかなく、患者がドナ―を個人的にさがすことはもう不可能に近い。そこであらかじめドナ―を募ってHLA型を登録しておき、骨髄移植の必要な患者がいるとHLA型を照合して骨髄移植の調整をする組織が骨髄バンクである。日本では登録者数が一万人で50%、五万人で80%、10万人で90%の患者にHLAの適合した人がみつかるかと計算されている。

わが国にはまだ全国的な骨髄バンクはないが、イギリスでは16万人、アメリカでは20万人もの登録者をもつバンクが設立されており、ヨーロッパ諸国やカナダ、オーストラリアなどにも数千人か

上/県民会館で開かれた神戸シンポジウム
下/シンポジウムへの参加者が少なかったのは残念



ら数万人の登録者をもつバンクがある。現在世界23カ国の登録者数は50万人程。国内に適合者が見つからないと海外のバンクから適合者をさがすことも行なわれており、世界中に百万人の登録者をもつことが目標とされている。しかし日本人と欧米人とのHLAの型はかなり異なるため日本の患者が欧米の骨髄バンクからドナ―を見いだすことはかなり困難でもあり、わが国でも早急に公的な全国規模の骨髄バンクが必要となっている。

兵庫県では骨髄移植に関する普及啓発や情報収集、ドナ―の確保等について検討するための連絡協議会が今年の八月に設置された。

重い血液疾患をもつ患者や家族にとっては時間と競いあう毎日でもある。一日も早い全国的な骨髄バンクの設立と、多くの登録者への協力を望みたい。

骨髄献血登録への問い合わせは左記へ。

「骨髄献血の和を広げる会」〒六二〇京都府福知山市土師一七七
円覚寺内。電話〇七三三—二七—七六九三



骨髄献血を呼びかけるポスター



北海道の大自然に包まれた定山溪温泉の観光協会青年部が出来たのは今年の4月でした。

今定山溪は、紅葉の真最中です。

山には、キノコ、山ぶどう、こくわ等、山の幸でいっぱいです。

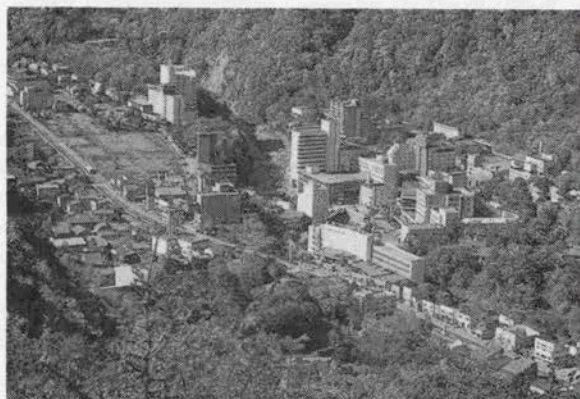
さて、7月23日に大阪に降り立ち、最初に暑いな、というのが皆んなの口から出た第一声です。

車で高速道路を飛ばす事30分、めざす有馬温泉に着きました。

簡素な佇まいの中に、歴史の古さを感じさせる一方、近代的ホテルにも目が向きました。

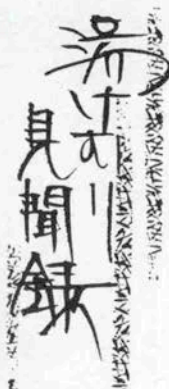
早速、有馬温泉観光協会青年部初代リーダーの弓削敏行さんに町を案内していただきました。

お茶会の開かれる瑞宝寺跡公園、鼓ヶ滝公園等、古い物が大事に保存されているのには、感心しました。特に念仏寺住職の永岡大純さんの



雄大な自然に囲まれた
定山溪。
あてやかな紅葉も、もう終わり、これからはスキー帰りの温泉客で賑わう。

定山溪温泉青年部 in 有馬 PART Ⅱ 「有馬回想録」



静寂さにつつまれた

くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675
TELEX 5627-115

結婚式場を完備しています



伝統と格式を誇る

兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館
TEL (078) 904-0501

敷地内から湧きでる
日本最古の温泉*有馬温泉*

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295



温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり
味に集う



TEL (078) 903-1024

水遊びの場



TEL (078) 904-0551

お話に出て来る沙羅花の話等、歴史の古里を思い知らされました。

夜になり、青年部主催の、サマーイベント「有馬のカーニバル」が開かれました。ゆかたレディコンテスト、独創的な夜店等、地元の人たちの観光協会青年部に対する信頼とコミュニケーションの良さが羨ましいぐらいで、見習いたい所だと感じました。

また大成功の後の全員での片付け掃除と夜遅くまでの町中のチームワークにも感心してしまいました。



六甲山から流れ落ちる水が滝になった鼓が丘公園

その後、我々のために、梶木雅夫協会長みずからの接待には真に感激しました。

翌日、有馬を後にしましたが、ロープウェイで神戸まで行ける等、観光地の整備の良さに、感心しました。定山溪温泉青年部の初めての有馬温泉訪問は、真に勉強になり、今後の定山溪温泉発展のために大いにプラスになったと思います。

最後に、お世話になった有馬温泉観光協会、青年部、皆様に暖かく迎えていただき、真にありがとうございます。

定山溪温泉観光協会

青年部長 高瀬 詔男

△JOYFUL ARIMA 御案内▽

場所 有馬クリスタルビル

(神戸電鉄有馬温泉駅ビル)

構成 ○秋の茶道具展―茶碗と煮―

11月1日(金)～11月3日(日)

お茶奉仕10時～15時 展示販売17時迄

出展 陶日興堂

○邦楽の夕べ

―新都山流尺八・生田流事曲―

11月4日(祝) 16時～18時

出演 神戸研華会宮前社中 他

○洋風生け花展

11月5日(火)～11月10日(日) 9時～18時

出展 グリーンファミリー

○手のひらサイズの夢

―世界のミニチュアカー展―

11月5日(火)～11月10日(日) 9時～18時

出展 カーナ

スライナー
六甲有馬ロープウェイ

日本最長、延々、
五キロの空中旅情。
TEL 078(891)0031

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館

欽山

TEL (078) 904-0701代

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで
有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより



FASHION

★魅力ある女性目指して

「Will 美 Club」

より美しく、より魅力的な、より充実した人生を希望する女性のために、ベニ

THANKS

★サノへ創業60周年感謝

ヨーロッパフェア

去る10月8日(火)、9日

(水)ホテルオークラ神戸・平安の間に於いて60周年の記念とお客様方への感謝とお礼の意を込めて、創業60周年記念ヨーロッパフェアが開催された。



ミラノ、フレンチツェ、ロンドン等より、秋冬物紳士、婦人衣料はもとより毛皮・バッグ・貴金属アクセサリーに至るまで平常価格の30〜70%OFFの素敵な商品に、会場はお客様で賑わっていた。



第1回パーティー

ー毛皮店からヒューマンネツトワーククラブが発足した。各種パーティーからスポーツ、セミナーを通して、積極的な人生を過ごすポイントが学べるシステム。キャリアアウーマンから主婦まで意志を持つ女性のためのクラブの誕生だ。入会金不要。参加費は実費。問い合わせは☎221-3327。

PEARL

★木下真珠

10周年記念パールフェア
清楚なイメージと紀子様御成婚の影響で、未だ冷めやらぬ真珠ブーム。北野坂の木下真珠では、10周年を



BEAUTY

★フィッシングセミナー

新しいあなたとの出逢い
1923年、ニュヨークに設立されたジョン・ロバート・パワーズスクール。



藤本統紀子さん

10月28日に新神戸オリエンタルホテルの文化教室エリオで開校された。
女性の魅力を内面と外面から引き出す。

記念し、感謝の気持ちを含めたパールフェアが開催される。数々のお値打ち品に加えて、抽選でお食事券。パールネックレスお買い上げの方にプレゼント



お買い上げの方にプレゼント

げの方には素敵なプレゼントなど特典も楽しめる。
11月16日(土)〜22日(金)
AM10時〜PM6時
☎221-33170。

開校にあたり藤本統紀子校長は「女性に対する最大のはめ言葉は『魅力的ね』だと思います。日常に流されがちな中で、自分をブラッシュアップさせていきましよう。」と語った。





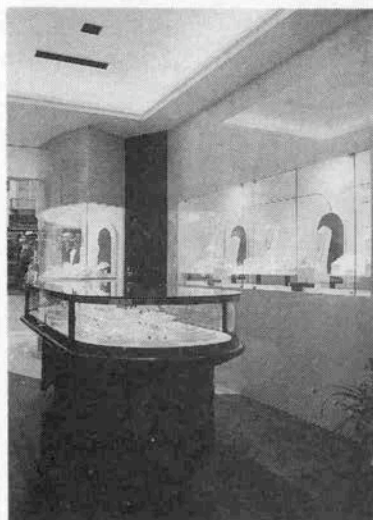
●スーパーDRYからZまでお好みを。

木村宗祐さん<アサヒビール株式会社>
神戸支社長

アサヒビールは若さのエキスポ、ダンディでフレッシュな支社長が神戸に来られました。「消費者のニーズに合った商品を提供しております」おもねりではない。アサヒの指向と消費者の好みがマッチしたことへの自信の謙虚な表現のようだ。静かなバイタリティを湛えた木村さん。神戸の街に大輪の花が咲いたようです。

NEWS

★タジマがリニューアル
元町2丁目の宝飾店「タジマ」が10月5日、リニューアルオープンしました。ひととき明るくなった気品ある店内には、タジマならではの個性的な商品がディスプレイされています。その品揃えも、前にも増して一段と豊富になりました。



何かとバ
ーティーが
多いこれか
らの季節。
大人の女性
にだけ許さ
れる本物の
輝きが、あ
なたを待っ
ていてくれ
そうな予感
がします。

TOPICS

●ファミリアから
人気のホールマーク
ビーターラビットと並ぶ、
ファミリアの人気商品ホール
マーク。エプロンやキッチン
タオル、クッション、ポーチ
など、ギフトにぴったりの日
用品ばかりを集めたシリーズ
だ。元来アメリカのホールマ
ークカード社はバスデールカ
ードなど、グリーディングカ
ードの世界ナンバー1企業。
さりげなく贈る人の思いやりの
心を伝えるカードのよう



に、愛情溢れるアイテムは、
贈る楽しさも味わるものば
かりだ。今年は、かすみ草と
スイートピーをあしらったシ
リーズ。愛らしい魅力いっば
いのコレクションだ。元町本
店、北野坂ハウスにて取扱い

PRESENT CORNER



●“ほろにが”新商売

豊かなコクと上品なほろにが
さ、味わいのビール“ほろに
が”をビール通のお客様にプレ
ゼント。350ml 缶24本入を2名
様に。

▼応募方法●葉書に住所、氏名、電話番号、希
望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町
113-1大神戸ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百
店会プレゼント係まで応募下さい。11月末
日消印まで有効です。当選者には神戸っ子ま
ら当選葉書を発送、葉書を持って神戸っ子ま
でプレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

中。お問い合わせは
番32110345
ファミリアホームファッショ
ン営業課まで。
●文化教室エリオ一日講座の
ご案内 ホテルレストラン
の料理教室
★まつり寿司
旬のさばを使って、ちらし
寿司を作ってみましょう。



日時 11月18日(月)
11時~13時
受講料 8240円
(昼食付)

★クリスマスケーキ
今年は、手作りケーキでメ
リクリスマス!
日時 11月26日(火)
13時半~16時
受講料 3605円
(ケーキのおみやげ付)
お問い合わせ
番2911121(代)

新神戸オリエンタルホテルエ
リオ文化教室まで。

KOBE MODERN CULTURE

音楽



★モーツァルトテウムピア
ノトリオ

11月15日(金) 19時開演 兵庫県民
小劇場 一般4000円 学生25
00円

モーツァルトテウム・ピ
アノ・トリオは国際モーツ
ァルト財団よりその名を受
け1980年に結成以来、



モーツァルトテウム
ツプザル
ルグ音楽祭を
めははじ

ヨーロッパ全土にて活発な演
奏活動を繰り広げ、今や第
一級のピアノトリオの一つ
となつて室内楽ファンの大
きな支持をうけている。1
990年には、コンパクト
ディスクをヨーロッパ、日
本でリリースしている。今
回は国際モーツァルト年に
際しての二度目の来日であ
る。

★神崎愛フルトリサイタ
ル

11月22日(金) 18時30分開演 明石
市民会館大ホール A席3000円
B席2000円

舞台、映画、TVで活躍し、
おなじみの神崎愛。今回の

コンサートは第一部、第二
部からなる。第一部では、
今年没後200年を記念するモ
ーツァルトのいろいろなジ
ヤナルの楽曲をお楽しみい
ただく。珠玉のようなピアノ
・ソナタから、そしてピ
アノ協奏曲第21番の第2楽
章、ヴァイオリンの軽やか
なテーマで始まる、あの交
響曲第40番まで、神崎愛の
フルートのためにアレンジ
されたものばかり。

★松本幸三リサイタル

11月12日(金) 19時開演 神戸文化
中ホール 全席由席3000円

地元神戸はもちろん、関
西をはじめ、海外でも活躍
中のテノール歌手、松本幸
三氏。今回は氏の満50歳の



松本幸三氏

誕生の日を
記念し、子
供の頃よく
歌った歌、

た歌、聞いて感動した歌、
演奏会で歌った歌を集めて
ファミリコンサートを開
く。ピアノは松本玲子夫
人、ソプラノは松本奈々さ
ん、テノールは松本薫平氏。
曲目は、この道、里の秋、

待ちぼうけ、初恋、むこう
むこうなど。



演劇

★近松むすばれて再び

11月30日(土)・12月8日(日)
新神戸オリエンタル劇場 S席60
00円 A席35000円

夫婦の間で交わす死後の
世界までの約束を「二世の
ちぎり」という。「死んで
も二人の愛はかわらない」
ほど強い



近松むすばれて再び

愛情で結
ばれた夫
婦。新婚
旅行など
という風
習のなか
った元祿

時代に、あの世までも夫婦
一緒に旅をさせようとは、
さすが近松門左衛門、大し
た目のつけどころである。

今回はそうした内容を盛
り込んだ近松原作「ひぢり
めん卯月の紅葉」と「卯月
の潤色(いろあげ)」を基調
に作り上げたミュージカル
を上演する。脚本家の、山
路洋平氏はいう。「お芝居
を書く人の多くはなぜだか
『近松浄瑠璃』を劇化した

がります。それをうまく解
明してくれた演劇評論家が
います。『登山家になぜ山
登りをするのか』と問えば
『そこに山があるからだ』と
答えるように、脚本家も
『そこに近松があるから
だ』(藤田洋氏)と。

★蝶々夫人

12月21日(土)・25日(水) 新神
戸オリエンタル劇場 S席6500
円 A席35000円

時は明治、ところは日本
の長崎、季節は春。この有
名な美しくも悲しい物語の
舞台の幕があがる。アメリ
カの士官ピンカートンは日
本人の娘とは日本にいる間



蝶々夫人

だけ結婚し、帰国をしたら
米国の娘と正式に結婚する
などと、アメリカ総領事の
シャープレスに話をする。
ピンカートンの身勝手さを
心配するシャープレス。結
婚式も無事終わり、華やか
な宴がくりひろげられてい
る。そして星がまたたく静
かな夜、二人の愛は深まっ
ていくが……。



映画

★第4回KOBÉ国際映画祭参加番組

「アサヒシネマ3」 一般1200円
小学生1000円

社長行状記 三等重役

11月16日(土) 17日(日)

大学のお姐ちゃん、ジャンケン娘

11月18日(月) 19日(火)

続・若い季節 綴方教室

11月20日(水) 21日(木)

二等兵物語 王将

11月22日(金) 23日(土)

集金旅行 喜劇・駅前旅館

11月24日(日) 25日(月)

母恋星 暁の脱走

11月26日(火) 27日(水)



集金旅行

雪の渡り鳥・
或る夜の
殿様
11月28日(木)
29日

(金)

音楽

★フェデリコ・アグステイニ

ヴァイオリンリサイタル

10日(日) 19時 ザ・シンフォニー

★テコスロバキア室内管弦楽団

19日(火) 19時 ザ・シンフォニー

★シヨパンフェスティバル

24日(日) 15時 神戸国際会館大ホール S席4000円 A席3000円 B席2000円

★室田純子デザイナショー

29日(金) 18時40分 舞子ピラ木館2F舞子の間

★ニューフィルハーモニー特別演奏会

30日(土) 19時 神戸文化ホール中ホール

★ポーランド国立放送交響楽団

12月2日(月) 19時 いずみホール S席12000円 A席10000円

★神戸フィルハーモニックファシリコンサート

12月7日(土) 16時 神戸市立西



演劇

★世界の果てに Dance

11月8日(金) 10日(日) ラビ

ングホール ラビング劇場 せい

でん三宮本店 18000円

★ブリザードミュージック

★ロッポニカクラシック

セレクション

第三の男11月2日(土) 18日(金)

イヴの総て9日(土) 15日(金)

王様と私16日(土) 22日(金) いず

れも「ロッポニカ三宮」にて一般1

600円 高校生13000円

「第三の男」アメリカの

作家が旧友の招きでウィー

ンを訪れる。そこで待ち受

けていた不可解な事件、旧

友の謎の行動…

「イヴの総て」イヴは女

優に憧れる田舎娘。脚本家

や評論家に取り入り、恩人

12月11日(水) 14日(土) 新神

戸オリエンタル劇場 35000円



古典芸能

★大和松蔭舞の会

11月23日(祝) 14時 大阪南地「大

和風能舞台」5000円

★大丸美術画廊

山高龍雲佛像彫刻展

10/31 11/5

長尾和作品展

11/7 11/12

森里陶楽陶芸展

11/14 11/19

輪島うるし展

11/21 11/26

★そこら美術画廊

吉向斎作陶展

10/30 11/4

良寛さまと花鳥による第2回水江

東宮彩墨画展

美術

の女優を落とし入れてスタ

ーの座を手にする。だがか

つての自分と同じ野心を持

つ娘の存在に気づく…

「王様と私」1862

年、シャム王家の家庭教師

としてイギリスから招かれ

た美しい未亡人と王との愛

がドラマチックに描かれた

感動のミュージカル。出演

はデボラ・カー、ユル・プリ

ンナー。

★この映画のチケットを読者の方に

プレゼント。ハガキに住所・氏名・

映画名を明記の上、神戸っ子「モダ

ンカルチャー映画係」まで

神戸焼・末汎室・南沢作陶展

11/13 11/18

第2回松子焼川尻史作陶展

11/20 11/25

小田尚時帯政作品展

11/27 12/2

★ギャラリーさんちか

防火ボスター展

11/1 11/5

木南美術展

11/7 11/12

花の会写真展

11/14 11/19

韓国具象青年作家展

11/21 11/26

★さんちかホール

91神戸技能フェスティバル

11/2 11/5

91兵庫県写真作家協会展

11/7 11/12

★神戸海文堂ギャラリー

梅田奈加子個展

11/2 11/9

木下晋個展

11/9 11/15

林正己個展

11/16 11/22

松本宏と若い仲間展

11/23 11/29